

# 会 議 録

（7-1）

会議の名称		令和6年度 第2回春日部市健康づくり推進審議会		
開催日時		令和6年10月 9日（水）	開 会	午後1時33分
			閉 会	午後2時20分
開催場所		春日部保健センター 講習室		
議長(会長等)氏名		北畠 義典		
出席者	委員氏名	（出席人数：9人）		
		北畠義典、村田陸剛、赤羽典子、梅原由里、宮武佐治子、樋口京子、荒井秀雄、鈴木由美、坂牧光義		
	説明者 その他	（出席人数：3人）		
		健康保険部長 松本英彦		
		健康課健康づくり担当課長兼保健センター所長 前田千恵 健康課健康づくり担当主査 篠原栄理子		
	事務局	（出席人数：5人）		
		健康保険部次長（兼）健康課長 河原伸介		
		健康課健康づくり担当主幹 今井通継		
		健康課健康づくり担当主査 横山記代子		
健康課健康づくり担当 町田恵美 健康課健康づくり担当 井上裕子				
業務委託事業者	株式会社サーベイリサーチセンター 根本大輔			
	株式会社サーベイリサーチセンター 根本さとみ			
次第及び公開、一部公開、非公開の区分		<p>議事（全て公開）</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1 開会</li> <li>2 委嘱状交付</li> <li>3 市長あいさつ</li> <li>4 委員・事務局紹介</li> <li>5 会長の選任</li> <li>6 副会長の選任</li> <li>7 会議の公開について</li> <li>8 （1）第2次いきいきライフプランかすかべ（春日部市健康づくり計画・食育推進計画・自殺対策計画）の素案について</li> <li>9 その他</li> <li>10 閉会</li> </ol>		

一部公開・非公開の場合はその理由	<input type="checkbox"/> 要綱第3条第1号該当： <input type="checkbox"/> 要綱第3条第2号該当： <input type="checkbox"/> 要綱第3条第3号該当： <input type="checkbox"/> 要綱第3条第4号該当：
配布資料	1. 令和6年度 第2回春日部市健康づくり推進審議会 次第 2. 資料1 春日部市健康づくり推進審議会委員名簿 3. 資料2 第2次いきいきライフプランかすかべ（春日部市健康づくり計画・食育推進計画・自殺対策計画）素案 4. 追加資料 第2次いきいきライフプランかすかべ素案より抜粋
会議録の作製方法	<input type="checkbox"/> 録音テープ等を使用した全文記録 <input checked="" type="checkbox"/> 録音テープ等を使用した要点記録 <input type="checkbox"/> 要点記録
会議録署名の指定	会長  

発 言 者	発 言 内 容・決 定 事 項
事務局	1 開会
市長	2 委嘱状交付
市長	3 市長あいさつ
	4 委員・事務局紹介
	＜配布資料の確認＞
	＜出席者について＞
	5 会長選任
	6 副会長選任
	7 会議の公開について
	傍聴人0名
議長	8 議事
	<p>(1)「第2次いきいきライフプランかすかべ（春日部市健康づくり計画・食育推進計画・自殺対策計画）の素案」について事務局から説明をお願いします。</p>
事務局	＜資料2、追加資料に基づき説明＞
議長	<p>資料2は、第1章の追加した内容と33ページからの課題の総括、Ⅱの計画となる。追加資料のように、計画内容も今後修正、追加されていくということのようだ。</p> <p>春日部市では調査等も行い、前回より悪化しているところ、改善されたところはさらにより良くなるように、また、維持できるように計画が立てられていると思う。</p> <p>委員から、小学生の歯についてはここ数年悪化しているというようなご指摘もあった。小学生の歯については、学校教育との間で、総合的に対応していくと思う。今回、次期計画についての進捗状況の説明であった。</p> <p>ただいまの説明に対して、質問、意見等あるか。</p>
委員	<p>学校は、歯科保健について、詳細なコーホート調査が出されている。学校医に配付される資料を読み解くと、歯科、口腔が悪化してい</p>

発 言 者	発 言 内 容・決 定 事 項
	<p>ると解読できる。罹患率だけとかなら割と簡単に出せると思う。</p> <p>教育委員会の歯科についてのデータがあれば、反映してもいいのではないかと思う。例えば、春日部市の小学生は口腔疾患の罹患率が去年より上がっているとかいう状況把握からでもよい。法律に義務付けられていないところであるが、精査していく、より正確な数値が把握できるのではないかと思う。</p>
事務局	<p>教育委員会は（歯科保健の）データを持っているのか。</p>
委員	<p>（歯科保健の）データを持っている。学校がそのデータを取るのには法律で義務付けられ、各学校単位で作成されている。しかし、作成された書類では、市民周知向けには詳細すぎてしまうため、罹患率など分かりやすくまとめる必要がある。</p>
議長	<p>学校歯科の罹患に関して、数値が出ているということだが、学校から配付されても、家庭によっては歯科に行けない方々がいるかもしれない。医療費と罹患率の関わりから、こどもの歯科の部分の医療費だけ、ここ数年の状況を把握することも必要である。</p> <p>学校での歯科罹患率について、疾患での診断が上昇せず、歯科医療費が上昇していることになれば、学校歯科受診勧奨通知とともに、学童が歯科受診しているという判断ができるかもしれない。</p>
委員	<p>歯科医療費は変わっていないと思う。学童にとって、医療費の窓口負担はないが、歯科受診が減少していると思う。</p>
議長	<p>歯科受診をしていない人が多いことは、歯科保険点数をみると、わかるかもしれない。</p>
委員	<p>市は、こども医療費を公費助成しているため、こどもたちの受診状況を把握することができるのではないか。</p>
議長	<p>歯科保健に関して、把握できるのであれば、可能な限り実施していただきたい。そのようなことから少しずつ実施していくと、小学生児童だけでなく、住民の中でも何か気になるような疾患とかがあれば、春日部市の疾患の特徴が詳細に把握できると思う。</p> <p>やはりそのようなことを重点的に実施していくと、詳細な見方が把握できると思う。</p>
委員	<p>議長のご指摘は非常に重要な示唆を含み、年齢ごとの罹患率でも</p>

発 言 者	発 言 内 容・決 定 事 項
議長	<p>とても有用なデータになると思う。</p> <p>例えば年齢で区切り、春日部市が負担した医療費から、年齢ごとの医療費の支出分が把握できれば、罹患率が上昇して、医療費の変動がないとなると、かなり有用な評価ができると思う。現状で、そのような状況を把握している行政は多くないと思う。</p> <p>歯科保健について、ご検討いただければと思う。</p> <p>現在、この追加資料にて、いわゆる見える化を初めて試みた。乳幼児期、学童・思春期、青年期、壮年期、高齢期を世代別で、市の取組をそれぞれの事業ごとに掲載し、世代と関係する事業を見せる計画書になった。非常に見やすくなっているかと思うが、計画書が公開しても、市民の皆さんは見ない方もいる。対象者にとってこの事業が充足しているのかどうかは特にわかりやすいように計画書を提供しようとしている。</p> <p>そのようなところで、前計画と変わった。市民の方で活用する人は少ないかもしれないが、我が町の状況がどうなのかといった話が出たときに、このような事業があるよと提示できるようになるとよい。</p> <p>今後、データに基づき、施策、計画の立案を行い、そのような見方が、今後、市民にとって大切になっていく。ぜひこちらを活用した活動をしていただければと思う。</p> <p>委員から気づいたことがあれば確認していただきたい。計画の全体が整わないと、いろいろな領域との整合性がわからないというご意見もあるかと思う。</p>
事務局	<p>また何かお気づきのことがあれば、保健センターにご連絡いただければと思う。世代が広いため、担当が工夫して、世代別にこのような事業を行っているという計画にさせていただいた。このような計画にすることで、職員も市民の皆さんに、このような分野にて、この時期にやっていただきたい内容の説明をしていきたい。さらに、健康づくりに励んでいただきたいため、今回このような記載にさせていただいた。</p>
議長	<p>計画の全体を見ること、委員のそれぞれの分野だけを見て何かお気づきになれば、ご連絡いただければと思う。</p>
委員	<p>資料2、34ページ、「高齢者の健康」で、健康課の人たちに感謝したいと思う。フレイル予防は、春日部市全体に向けて、地区の自治会や少数のグループ活動等に声掛けしていただき、小さなグループでもフレイル予防の勉強会を開催していただいている。とても良いと</p>

発 言 者	発 言 内 容・決 定 事 項
議長	<p>思っている。微々たることだと思うが、それを春日部市全体の場で行っているため、話を聞いた方がまた隣の人に話してくださるように広がって、フレイル予防やロコモティブシンドロームなど、勉強をさせていただいているのはとても喜ばしいことだと思っている。</p> <p>高齢者は、今、SNS等で情報の交換がしやすいといわれているが、やはり生の声を聞いて、人伝えに伝わっていくことが一番印象に残る。また、自分が健康になっていこうかというモチベーションにもなる。このようなご意見があるので、その活動は絶やさないようにするのが一番だと思う。</p>
委員	<p>今ご指摘いただいたことは、私も最近聞いており、草の根がかなり効いていると思う。フレイルとか、ロコモティブシンドロームに関して、グループ単位で活動をしているところがすごく多くなったことは大変よいことだと思う。</p>
議長	<p>厚生労働省は、10分で歩いて行ける圏内ぐらいに1つずつ小グループなどをたくさんつくり、健康づくりの情報や、行動を変容するための知識を伝えることによって健康づくりに励む人が増えるだろうというような計画がある。そのようなことを増やしていくことにより、やはり健康づくりは基本的に予防と、今持っている病気を悪化させないところにも寄与するものであり、市民が意識を高めるといったところで、医療費も減ってくのが理想である。</p>
委員	<p>このような活動は、女性が多いのはなぜか。</p>
議長	<p>なぜ男性が出てこないかという研究をしているグループがいるが、いまだに理由はわからない。女性は、コミュニケーション能力が高いため地域で参加するのだろうと思う。男性もコミュニケーション能力はあり、会社等での勤務をしていたにも関わらず、地域の中で自分の能力を発揮できず、退職後も、なかなか地域に溶け込めないということがあるようなので、そのようなところをどう改善していくかという視点も大切である。また、退職前に何か地域とつなげるような事業を始め、人とのつながりも健康づくり、社会的健康の一部であり、精神的なストレスが解放されることもあるため、ぜひ、人との交流も、健康づくりの一部だと考えていただき、いろいろな事業や活動をしていただければと思う。</p> <p>事前の資料2と今日の追加資料も見比べていただき、ご質問等あれば保健センターにお願いします。</p>

発 言 者	発 言 内 容・決 定 事 項
委員  議長	<p>他に意見はあるか。</p> <p>[質疑応答なし]</p> <p>以上をもって本日の議事は終了とする。委員の皆様にはご熱心にご審議いただき感謝する。</p> <p>9 その他            次回審議会は11月13日(水)午後1時30分から、場所は春日部市役所 本庁舎3階 会議室301を予定している。詳細については後日案内を送付予定である。</p> <p>10 閉会</p>
<p>議事の顛末・概要を記載し、その相違なきこと証するためここに署名する。</p> <p>令和 6年 11月 15日</p> <p>署名者の職・氏名 春日部市健康づくり推進審議会 会長 北畠 義典</p>	